

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【公表番号】特表2004-514412(P2004-514412A)

【公表日】平成16年5月20日(2004.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2004-019

【出願番号】特願2002-500918(P2002-500918)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 39/395

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 14/74

C 0 7 K 16/30

C 1 2 N 5/06

C 1 2 N 5/10

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 14/74

C 0 7 K 16/30

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 N 5/00 E

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成15年2月4日(2003.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

天然の同じリガンドに対して免疫応答を誘発し、  
FLQLLMEPV (配列番号： 3), FLQLEFDV (配列番号： 5),  
FLWFEIDIV (配列番号： 7)および FLSYDLFVV (配列番号： 9)

からなる群より選択される、免疫原性リガンド。

【請求項2】

請求項1記載のリガンドをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項3】

請求項1記載の免疫原性リガンドを特異的に認識して結合する抗体。

【請求項4】

担体、および一つもしくは複数の請求項 1 記載の免疫原性リガンド、請求項 2 記載の単離されたポリヌクレオチド、または請求項 3 記載の抗体を含む、組成物。

【請求項 5】

一つもしくは複数の請求項 1 記載の免疫原性リガンド、請求項 2 記載の単離されたポリヌクレオチド、または請求項 3 記載の抗体を含む、宿主細胞。

【請求項 6】

宿主細胞が抗原提示細胞であり、かつ免疫原性リガンドが細胞表面に提示される、請求項 5 記載の宿主細胞。

【請求項 7】

抗原提示細胞が樹状細胞である、請求項 6 記載の宿主細胞。

【請求項 8】

請求項 5、6、または 7 のいずれか一項記載の宿主細胞、および担体を含む、組成物。

【請求項 9】

MHC 分子と共に ( i n t h e c o n t e x t o f a n M H C m o l e c u l e ) 請求項 1 記載のリガンドを提示する抗原提示細胞の存在下で、該抗原提示細胞を犠牲にして産生された、免疫エフェクター細胞。

【請求項 10】

被験者において免疫応答を誘導するための医薬品の調製における、請求項 1 記載の免疫原性リガンド、請求項 2 記載のポリヌクレオチド、請求項 3 記載の抗体、および請求項 9 記載の免疫エフェクター細胞からなる群より選択される作用物質 ( a g e n t ) の使用。